

# 第10回 東北復興 i-Construction 連絡調整会議を開催(R4.2.8)

建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組みとしてi-Constructionを進めることを目的に、有識者、発注者及び建設業団体からなる会議を開催。新型コロナ対策として、web形式にて開催。

## 【議事】

- ① ICTサポーター制度の取り組み方針について
- ② 会議名称の変更及び規約の変更について



第10回 R4.2.8会議

## ◆出席者

【学識経験者】 東北大学大学院 高橋教授

【国土交通省】 東北地方整備局

【自治体】 青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、仙台市

【業界団体】 東北建設業協会連合会、日本建設業連合会東北支部、日本埋立浚渫協会東北支部、日本建設機械施工協会東北支部、建設コンサルツ協会東北支部、

-----東北測量設計協会、東北地質調査業協会、日本建設機械レンタル協会東北協議会、日本道路建設業協会東北支部、建設電気技術協会東北支部-----

## 【議事】① ICTサポーター制度の取り組み方針について

- ・【東北地整】 ICTサポーター制度の要綱、運用までの流れ、制度設計案等を説明  
ICT施工の普及促進、3次元データの利活用促進を目指し創設来年度運用開始予定

企業、団体にサポーターとして登録していただけるように各会員からの周知を依頼  
中小企業に対しても、積極的に周知



## 【報告】① i-Construction新技術体験学習会の協力要請について ② ICT地元経営者向けセミナーについて

- ・【東北地整】 第9回連絡調整会議にて議事提案した2件について、今年度の活動内容を報告し、次年度の活動について協力要請を行った

## 【議事】② 会議名称の変更及び規約の変更について

- ・【東北地整】 会議名称の変更経緯、規約の変更、各会員の意向、

東北地整インフラDX推進本部との連携等を説明

会議名称の変更「東北復興DX・i-Construction連絡調整会議」及び規約改定について異議なく決定

DXを推し進めるため、連絡調整会議とインフラDX推進本部が連携することにより、これまで以上にインフラ分野における様々な内容についても取り組んでいく



## 今後の課題

- ・ICTサポーター制度について、一部のサポーターに負荷がかからないようにする
- ・人材育成に引き続き力を入れていく
- ・学生対象のi-Construction新技術体験学習会について、各会員・各団体とコラボして進めていく